



8

No.330

2007年8月号

「強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う」

標 語

国際会長 "Let's Show-Let's Grow"
 「示そうワイズ！伸ばそうワイズ！」

アジア会長 "Let's Join under the Y's Men's Flag"
 「ワイズメンの旗のもとに」

西日本区理事 "Let's move forward with conviction!"
 「確信を持って前進しよう！」

京都部部長 「京都部555を目指してYと共に更なる飛躍を！」

西日本区強化月間

Youth Activities

会長 岩本敬子
 副会長 山下太郎
 書記 島田博司 牧野万里子
 会計 中原一晃

クラブ会長標語 「笑 顔」 喜んで、楽しんで、感謝して。

『反省を込めて発展への道を共に歩もう！』
 私はここ数年西日本区の推移に危機感を抱き、会員増強への熱意ある挑戦の必要性を絶えず訴えてきました。だがその期待は一向に報われず、また、わがウエストにおいても“なぜクラブ中核の若い会員が新会員獲得に注力してくれないのだろうか”と、物足りぬ心情を抱きつづけてきました。

しかし、ここに至って西日本区に起こった会員増強への気運は京都部にも及び、全クラブの強い意気込みが感じられます。まさに“山が動いた”の感懐です。

私自身、岩本新会長から会員増強への強い願いをこめてEMC委員長の職責を与えられ、7名増強、期末には30名達成という高い目標を掲げて活動をはじめました。

実は、今回会員皆さんに協力をお願いしたEMCアンケートには、私自身の深い反省が込められているのです。

私は20数年に及び日本区中枢の職務に拘わってきた間に、いつしか私の心のうちには、自分はこれまで多くの会員を入会させてきて今日に至っている。60歳後半からは、自分の周囲には入会候補となる対象者は見つけ出せない。だから30歳から50歳位の旬を迎えている若手会員が、常に会員増強への努力をしてほしいものだ。ワイズメンズ運動が愛に基づく自己研鑽の場と云われるように、親睦で培ったエネルギーが自然に放出され、YMCAや地域社会への奉仕につながってゆく。そうしたワイズライフを通して、他への奉仕というよりもむしろ自分が奉仕されているのだ、との体感がまだ不十分なのだろうかと思う一方、大きな時代変化もあることだし、クラブ内では口やかましく出しゃばらず、世代交代の活力を期待すべきだと自問自答を重ねてきました。

EMC委員長 森田 恵三
 ところが、昨秋のとある朝のこと。いつものように舞い散った落ち葉の清掃に没頭していたとき、いつしか無心の境地となっていたのでしょうか、ふとした気づきがありました。西日本区やウエストの会員増強への動きの鈍さに愚痴をこぼしているお前は、自分はカー一杯やってきたという固定観念にとらわれ、死ぬまでワイズメンバーでありたいと願いながら、他を批判して己の一步の大切さを忘れてしまっているのではないかと、それでは頑固な濡れ落ち葉と同様ではないのか、という反省でした。

その後にあつて、EMC委員長を引き受けたからには、自ら率先垂範、老骨鞭打ってこの一年の責を果たしたいというポジティブな思いを披瀝したのがBAMBOO7月号の所信表明でした。

さて、お願いしたEMCアンケートのうち最も重要な入会候補者紹介のことでありますが、私自身、先の反省から入会推奨の対象者を30～40代の二世経営者に視点を移しました。

仕事柄事業承継の人材育成にも力を入れているとき、人間性向上のためには打ってつけの環境に引き込むことで、その効果が得られるとの自信をもって当たろうと思っています。

皆さんも候補者を説得させてからとは考えず、気軽に身の回りに居られる縁者を想起して、紹介リストを提出してくださることを望みます。

皆さんの協力を得て、一人でも多くのリストを作成してからグループオリエンテーションに誘い、その後個々にアプローチしていきたいと考えています。

ウエストの活性化と発展への道を希望をもって共に歩もうではありませんか。

7月在籍者		例会出席率		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
会員	第一例会	第二例会	切手	Opt	第一例会	ネットファンド			
23名	メン	21名	現金	Opt	8,557円	0円			
広義・功労会員	メネット	2名	0名 (メイキャップ含む)		第二例会				
0名	コメット	0名	前月出席率	累計	17,500円				
	ビジター	0名	修正	切手	累計26057円	ファンド			
	ゲスト	0名	なし	現金	Opt	年間合計			
合計	23名計	23名				26,057円			

キックオフ例会(第一例会)

2007年7月12日(木)リーガロイヤルホテル
EMC委員 金澤 典子

岩本会長初初めての例会、キックオフ例会が行われました。受付から岩本会長の工夫が感じられました。出席をハンコで確認。各自の連絡ファイル。例会進行役がそれぞれ帽子をかぶる。等々・

前期会長の河合ワイズに続き女性ならではの気配りはすごいなあ~と感心しました。2年を通して細やかな配慮を感じます。

中村ワイズの司会で始まり岩本会長初のご挨拶。「喜んで、楽しんで、感謝して」の気持ちがひしひしと伝わりました。そして西日本区情報委員会委員に中原ワイズ、西日本区ワイズ必携編集特別委員会委員に森田ワイズの西日本区委嘱状伝達式が行われました。お二人はいつもワイズの為に労力を惜しまず尽くされています。本当に感心致します。その後新三役・各委員長の所信表明、皆さんの一年間にかける思い。きっと頼もしく岩本会長をサポートされる事でしょう。メンバー全員で岩本会長をもり立てていきましょうね。

ゲストスピーチは京都 YMCA 総主事の神崎清一総主事と京都 YWCA 総幹事の山本知恵総幹事。実はこの日のお話で初めて YWCA の事を知りました。以前住んでいた家の近くで存在は知っていましたが、内容は知りませんでした。YMCA と同じ志を持って頑張ってもらえるんだなあ~と共感しました。最後のニコニコは藤井ワイズ、帽子姿が体操のお兄さんのようでした。例会も終わりトップオブ京都で2次会へ。牧野ワイズと野田ワイズのお誕生日にも乾杯!



岩本会長の所信表明

障害者介助講習会に参加して

2007年6月30日(土)三条YMCA
会計 中原 一晃

一般の方も含め202号教室には24名の方が集まり講習会は始まりました。日ごろワイズというボランティアもしている団体におりながら、障害を持つ人たちのことについては知っているようで実は何も知らずにいる自分に恥ずかしさを感じて今回参加しました。講師は松永信也氏。現在はYMCA 国際福祉専門学校で非常勤講師も勤められています。全国に視覚障害者は31万人、京都だけでも11000人の方がおられ、何と! 盲導犬をお使いの方は全国で950人。京都ではたっ

たの16人だそうです。1頭育て上げるのに約300万円必要だそうです。多くの視覚障害者は家から出ずに過ごされている現状も知りました。失明の原因は現在では1位が糖尿病、続いて事故だそうです。最近では緑内障も増大している病気で、テレビ・パソコン・ゲームなどの画面の見すぎから来るものが多いそうです。これには私も気をつけないと。昨日まで、さっきまで見えていた人が急に視覚障害者となりえる昨今、松永先生曰く自分も普通の人間でたまたま目が見えなくなっただけで、目が見えないのは確かに不自由ではあるが=不幸ではない。視覚障害者のみんなが白い杖で難なく歩けるわけでもなく、点字が読めるわけでもない。それなりの努力をして歩けるようになり、訓練をして指先で点字が読めるようになる。主題の通り2名でペアになり三条 YMCA の2階からアイマスクをして誘導の実験。誘導者は先ず手の甲を相手に合わせてまっすぐ伸ばした肘をつかんでもらい、一歩後ろを歩いてもらう。階段に差し掛かったら両足を揃えストップ。「下りの階段です」と声をかけ降り始める。すんなりついて行ける自分にも驚きながら、「階段終わりです」と声をかけ今度は階段の終わりで両足を揃えストップ。自分がその立場に立ったとき視覚からの情報がない状態では、いかに声による情報が大切かが身をもって理解できました。駅のホームでの転落事故では毎年10名以上の方が亡くなっているそうです。落下しても自分がどちらに向かえばホームなのか見えない。確かにあの高さから目隠しして飛び降りればぞっとしますよね。信号で鳴る「ピヨピヨは南北 カッコウは東西」雨風のある日は、これを聞いても遠く離れたスピーカーからの音では方向が定まらずまっすぐ渡れないそうです。健常者であっても危ない横断歩道を渡るには「いっしょに渡りましょうか?」の一言で障害者の「怖い」を取り除く手助けとなるのです。コミュニケーションの大切さ、町に出て声をかけてくれるのは外人さんだけ。国際化と言われていてもまだまだ障害者に対する思いやりや知識の足りない日本はもう少しレベルアップしないとイケません。環境にいいとされる音の出ないハイブリッド車(松永氏曰く「地球にやさしい殺人車」)も怖い物の一つだそうです。今回の講習会から白い杖を持っておられる方を見かけたとき、今までは躊躇していた一言が自信を持って言えるようになったらこの講習会に参加したことも成果があったと言えるでしょう。毎月こういう講習会や勉強会はあるそうですので、みなさんで参加しましょう。

7月第2例会

2007年7月26日(木)リーガロイヤルホテル
ファンド委員長 藤居 一彦

本日は総会であり、新山兼司京都部長、三村 EMC 主査、二井交流主査の3名に加え、わがウエストクラブより京都部へ出ておられます、中村 BF ファンド主査での部長公式訪問で、拍手を持ってお迎えしました。岩本会長の開会点鐘で今期2回目の例会が始まり、前回のキックオフ例会で気合が入りすぎたのか会長挨拶が少し長くなり、司会から巻きが入りましたので、会長も今日は少し短めの挨拶でした(笑) 総会も大きな問題も無く着々と進み、さていよいよ新山部長のお話が始まりました。

京都部のメンバーも徐々に減少傾向にあるので、何とかメンバー増強を！との大変熱き思いのこもったお話に全メンバー聞き入り、時間の経つのが早い事！！各主査の方々の思いを感じるスピーチが終わり、帽子が大変お似合いの高山ワイズのニコニコマンが済み、閉会天鐘で盛大な拍手を持って公式訪問も終了しました。



京都部長新山ワイズ

新連載コラム 森田ワイズの
『京都ウエスト温故知新(第二部)』
その七 日本区最初のYEEP留学生受入れ

時あたかも1985年は国際青年の年に当たっており、YMCAでは基本理念に合致することとして諸事業が国際的に展開されたのでした。京都ウエストにおいてもこれに相応しい画期的な事業に取り組むことになったのです。

それは、京都ウエストが日本区におけるYEEP (Youth Educational Exchange Program) 留学生受け入れ第1号のホストクラブとなり、8月にカナダのサウス・カルガリークラブからの留学生ヘザー・アン・フォークナー嬢を森田ワイズ宅がホームステイを引き受けたことであります。

青木一芳日本区理事をはじめ日本区全クラブがこのYEEP事業を成功させるための協力を惜しまず、日本滞在中の国内旅行を支援し、IBC鍾路クラブへの第3回ワイズリングホームステイ体験プログラムにも参加して、心暖まる楽しい生活を共に体験することが出来ました。

高校生活では府立洛西高校2年に編入学、森田純子コメットと約1年間自転車通学。井筒校長や担任の上西先生、クラスメートたちの友情溢れる細かい配慮によって、ホームシックも克服して、文化祭や音楽部・剣道部・書道部などにも参加、たった一人だけの修了式まで開いてくださったのでした。彼女の留学生活の様子は毎月のプリテンに「YEEPの窓」を設けて、「アンの日本チャレンジ日記」を掲載、全クラブ会長、日本区役員の皆様にも公開しました。

森田ワイズの日常生活でも家族の一員として実に自由闊達、双方ともに異文化を学び合うさまざまな経験を積むことのできた楽しい一年間となったのでした。

次いでクラブのエポックとして、1979年11月25日京都ウエスト設立以来ワイズ運動の助け手として多くのプログラムに参加協力し活動してきたメネット

が、1986年2月京都タワーホテルにて京都ウエストメネット会認証状伝達式を華々しく挙行し、国際平和年にちなんで、乙訓二市一町の小中学校に「平和の本」を贈る運動を長岡YMCAと協力実施したのでした。

こうしたメネット会の活動が注目され、翌年1987年6月には京都めいぶるクラブの西崎照一日本区理事からの任命により、森田直子メネットが日本区メネット事業主任に就任することとなりました。

理事の指導のもとに、各事業の活動を奨励し、推進するという任務を負う事業主任は、理事がワイズ運営に当たって最良のコンビネーションを考慮して人選するだけに、未経験の仕事ながらも熱意をもって実務に挑戦せねばなりませんでした。

クラブの活動範囲を大きく超えたワイズ運動に、重要な任務を背負って携わる事で得られる何事にも代え難い貴重な体験は、自己の成長ぶりを知り、自らが奉仕されていることを体感できる絶好のチャンスと申せましょう。

これからもワイズメン・メネットは、誰でも何事によらず積極的に挑戦して下さることを願う次第であります。

(2007.7月)

ちょっとメンバーにインタビュー
さて、この方は誰でしょう？

- Q. このクラブに入ったきっかけは？
- A. 声をかけてくれはったんです。私が社長になるのを待ってて、立場的にも社会的にもいいんじゃないかと。
- Q. どなたから？ライオンズとか他の会は誘われなかったのですか？
- A. 担当の税理士だったUワイズです。そういうのはウエストに入ってからですね。もしかしたら先に誘われていたら、違っていたかも。
メネットと2人で、話を聞いて一番にメネットが(ようやく声をかけてもらえるようになったね)と賛成してくれました。今まで仕事しかしてなくて、仕事上付き合うことがなかったし、それにホテルに出かける事もなかったんです。
- Q. 最初何が良くて決め手になりました？
- A. 役員会、徳義会のバザー、例会、3回行って、リトセンでクリスマス例会で入会式だったんです。勉強することもあって、ボランティアもして違う面を見て、両面が正しく見られたのでよかったんじゃないかと思えます。
- Q. それで良かったことは？
- A. 一番は子供たちの影響でしょうね。小さい時はみんなソフト、バザー、街頭募金いろんな事に参加し、楽しんだと思います。それに親父は仕事だけではなくこんな事もしてるんやと、親への理解が出来たと思います。

答えは裏表紙右下に

7月第二例会で中越沖地震緊急募金を募りました。募金額は16,565円でした。募金は京都YMCAを通じ、被災者への支援に充てさせていただきます。


8月 Schedule

7月30日	(月)	三役会	19:00~	今出川 YMCA
8月2日	(木)	役員会	19:30~	リーガロイ ヤルホテル
8月9日	(木)	第一例会(通 常例会)	19:00~	リーガロイ ヤルホテル
8月23日	(木)	第二例会(納 涼例会)	19:00~	清和荘
8月26日	(日)	徳義会夏祭り	後日連 絡	平安徳義 会


9月 予 定 抄

9月2日	(日)	リトセン秋の 準備ワーク	後日連 絡	リトリート センター
9月3日	(月)	三役会	19:00~	今出川 YMCA
9月6日	(木)	役員会	19:30~	リーガロイ ヤルホテル
9月9日	(日)	京都部部会	15:30~	ウェスティ ン都ホテル
9月27日	(木)	第二例会(メ ネット例会)	19:00~	リーガロイ ヤルホテル

8月 Happy Birthday

	メン	メネット
	高野 忠男	市橋 ちさ
	笹山 伸泰	大西 洋

8月 Happy Anniversary

	該当なし	

8月 他クラブ例会案内

	第一例会		第二例会	
	日程	場所	日程	場所
パレス	9日	ブライトン	23日	ブライトン
洛中	10日	三条 YMCA	26日	サバエ
みやび	2日	三条 YMCA	23日	セントノーム

8月 役員会議案報告

	内容	結果
議案 1	2007.7~2008.6年度 今出川 YMCA を会場(使用料年間5万円)として継続使用する。 (三役会・委員会等)2008.4月からは、 三条 YMCA を会場とする。 承認 備品についてレンタル BOX 等の 使用も検討必要ではないか? 個人預かりグッズについても一度検討し て欲しい。	承認
議案 2	2007.7~2008.6年度 通常例会においてメンバーが欠席の 場合、メネットの登録費はなしとす る。	承認

	例会場(リーガロイヤルホテル)に おける登録費 第一例会登録費ゲスト¥3,000・メ ネット・コメント¥2,000とする。 第二例会登録費ゲスト¥5,000・メ ネット・コメント¥3,000とする。	
議案 3	クラブ会費と新入会費の件 クラブ会費は月額¥16,000とし入 会金は¥30,000とする。	承認
議案 4	30周年PT委員長に中原ワイズを 推薦の件	承認
議案 5	プリテン発送方法の件 切手の持つ意義も時代とともに変化 し現在では別納やメール便が主流と なっていることから少しでも浮いた お金も別に廻し活用する。ことでも OKとする。	承認

YMCA News

1. ワイズワーク感謝!

6月24日(日)にはリトリートセンター開設ワーク、7月1・8日(日)にはサバエキャンプ場開設ワークのご奉仕、多くのワイズメンのご協力ありがとうございました。おかげさまで、夏のプログラムも順調にスタートすることができました。“多くの子供たちに素敵な夏を”とYMCAスタッフ、ボランティアリーダー一同、プログラムの工夫やトレーニングに懸命にがんばっております。

また、9月2日(日)にはリトリートセンター秋期準備ワークを予定しております。よろしくお願ひ致します。

2. 京都 YMCA 平和の集いのご案内

テーマ:「共に平和の実現を」

YWCA 会員活動として実践してきた平和への取り組みや、市民とともに進めている憲法と平和を守る運動の様子などをご紹介いただきながら、平和の根底にある日本国憲法への熱い重いや、YWCA メンバーでありキリスト者としてイエス・キリストの生き方から学びつつ、共に生きる世界を実現するための日頃の思いを語っていただきます。

日時: 8月3日(金)午後7時~8時30分

場所: 京都YMCA 三条本館

講師: 黒木 順子さん(京都YWCA 会員・守ろう憲法と平和きょうとネット代表幹事)

参加費: 無料

3. 後期募集のお知らせ グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育

受付: 9月6日(木)午前10時より

お問い合わせは下記まで

電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970

E-mail:kyoto@ymcajapan.org

編集後記 プリテン委員長 市橋清太郎

今月号の表紙・中面の記事の文字サイズを若干大きめにしています。「文字が小さくて読みづらい」という声を受けての改善です。また新しい企画として「ちょっとメンバーにインタビュー」コーナーを始めました。これからもみなさんの声を反映したプリテンにしていきたいと思っておりますので、どしどしご感想・ご要望などお寄せください。

「ちょっとメンバーインタビューの答えは・・・中原ワイズ

今月聖句は都合によりお休みさせていただきます。

2007年1月号より当クラブのプリテン(紙面版)はグリーン商品リスト掲載品・FSC承認パルプを使用しています。また製本は(社)京都手をつなぐ育成会 山科共同作業所(知的障害者自立支援センター)に委託しています。